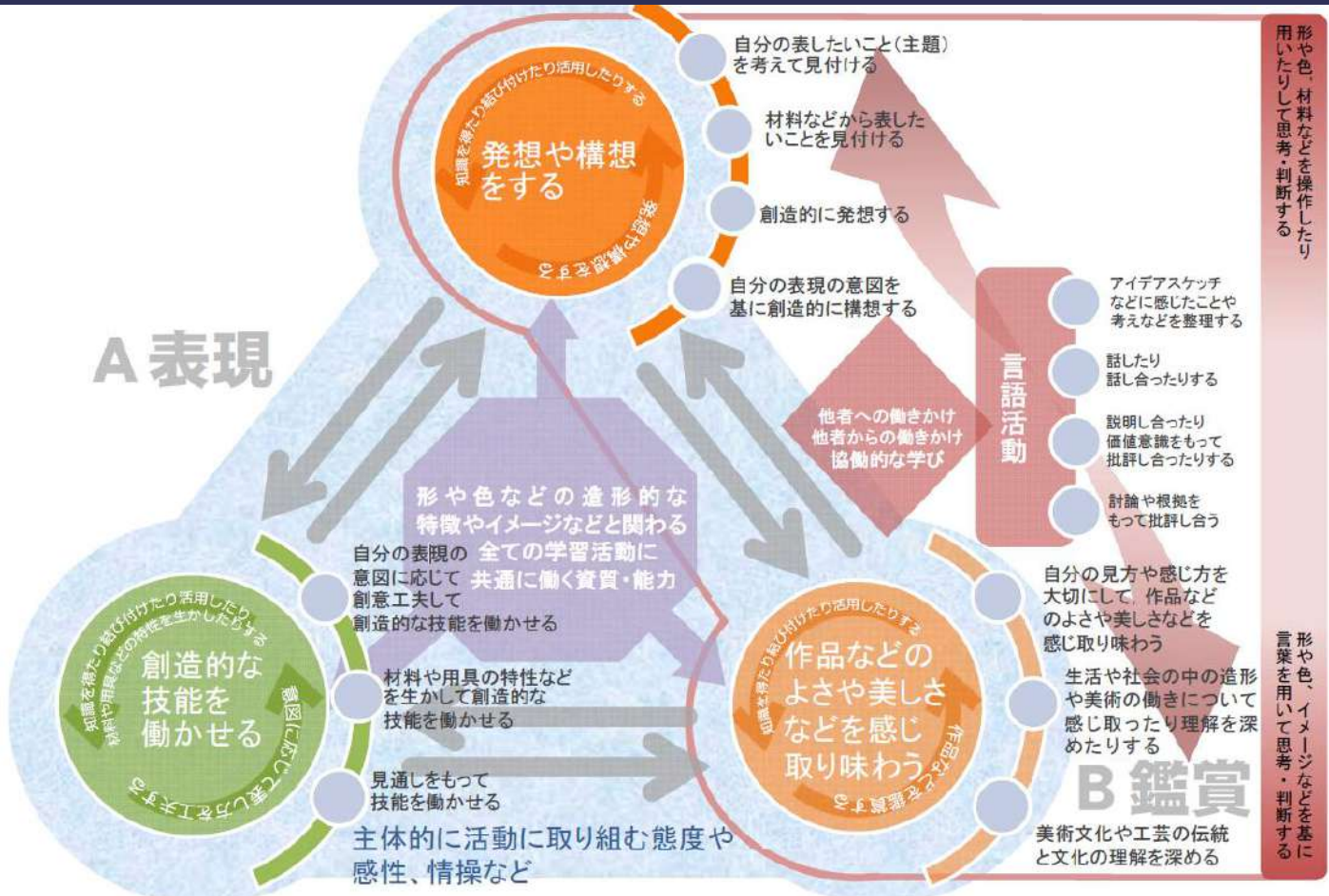


図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習過程のイメージ



(参考資料) 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 芸術ワーキンググループにおける審議の取りまとめについて (報告) 別添資料

学習過程における問題発見・解決の過程でのクラウド活用 (例)

【課題の設定】

身の回りの事物や参考作品、制作途中の作品などから感じたことを、クラウドを活用しながら友達と意見交換し、表現への意欲を高めたり、課題解決に向けた見通しをもったりする。

【情報の収集】

インターネットで発想や構想時に必要な様々な情報を得る、自分の考えや新たなアイデア、試した表現などを順次クラウドに記録するなどして情報を蓄積する。

【まとめ・表現】

クラウドを活用して言葉や写真で追求過程を記録したり、互いの作品から感じ取ったことや考えたことについて伝え合ったりして自己の学びを振り返り、成果と次時に向けた課題を明確にする。

【整理・分析】

蓄積した情報を比較して、表現の効果を分析したり、主題に合う表現を選択したりする。また、クラウドを活用して友達から得た意見をもとに、多面的に表現の効果を捉える。

見方・考え方：感性や想像力を働かせ、表したい動物を形や色彩の視点で捉え、形や色、材料などを操作しながら主題についてのイメージを深め、意味や価値をつくりだすこと  
 ICTの活用：インターネットで表したい動物の情報を集めたり、クラウドを用いて友達と互いの主題や表現の見通しを伝え合ったりし、見方や感じ方を深める。  
 学習場面：主題を生み出し、表したい動物の情報を集め、試行錯誤しながら制作していく場面(全6時間の流れ)

### 【課題の設定】



参考作品を鑑賞する



作者の表現の意図と工夫について、気付いたこと、考えたこと等をクラウド上で伝え合う

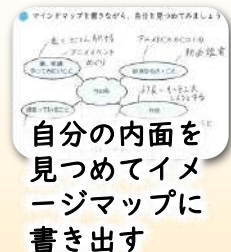
などを通して、自分を投影させた動物の制作に向けた意欲を高めたり、制作時には、前時に生まれた課題の解決に向けた見通しをもったりする。



教師は、主題の生成に向けた思いや課題の解決の見通しなどについて、生徒同士がクラウド上で互いに参考にしながら制作できるようにする。

### 【情報の収集】 【整理・分析】

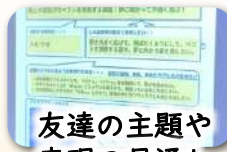
豊かに発想し構想を練ったり、自分の表現方法を追求したりするにあたり、ICTを活用して



自分の内面を見つめてイメージマップに書き出す



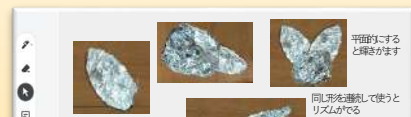
クラウドに保存された情報やインターネットで、対象や事象、表現方法についての情報を集める



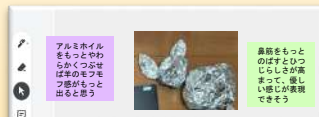
友達の主題や表現の見通しをクラウド上で確認し、視点を広げる



教師は、クラウド上で把握した生徒一人一人の主題や制作の過程に基づいてよさを認めたり、支援が必要な生徒に個別にアドバイスしたりする。



これまで試したアイデアを画面上で比較して表現の効果を捉え、分析しながら構想を練る



クラウドを活用して自分の主題が表れているか友達から意見をもらう

などを通して、自分の表現を練り上げていく。

### 【まとめ・表現】

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

言葉や写真で追求過程を記録する



クラウドで確認した友達の追求過程をもとに作品のよさや美しさなどについて友達と伝え合う

などを通して、自分や友達の学びや変容を感じることで制作の満足感や達成感を高めたり、次時の課題を自覚したりしていく。

### この事例のポイント

インターネットを活用して表したい動物についての情報を丁寧に収集するなかで主題への思いを深めたり、クラウドを用いて生徒同士が互いの主題や表現の意図と工夫を伝え合い、造形的な視点に基づいた情報交換を行ったりし、学習を充実させることができる。